

プレミアグループ株式会社 **東証プライム 7199**

# 2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

2025年2月7日



- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 カープレミアクラブ
- 07 その他進捗
- 08 Appendix

※決算説明動画はIRサイト (<https://ir.premium-group.co.jp/ja/library/movie.html>) にて配信しております。

# 01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

08 Appendix

# 2025年3月期 第3四半期 ハイライト①



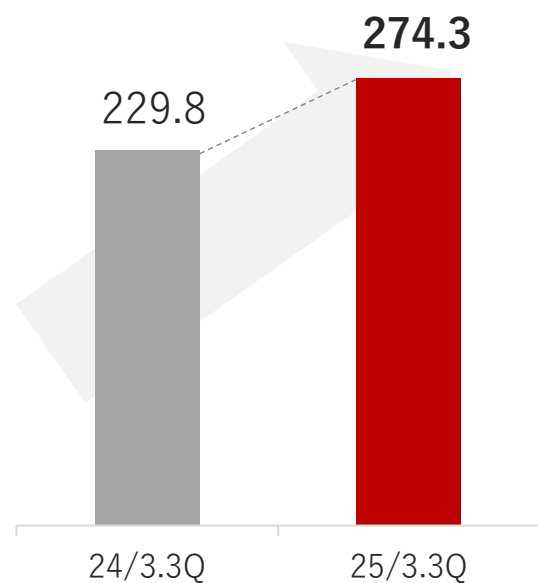
- クレジット債権残高、故障保証残高の**積み上げ**により営業収益は前年比**+19.4%**
- カープレミアクラブ※の**会費増加**と各事業の**費用低減**により、営業利益の前年比は**+36.3%**
- 将来収益（繰延収益）も順調に**積み増し**。引き続き**将来収益**を安定的にBSにストック（**606億円**）

## 業績

(グラフ単位：億円)

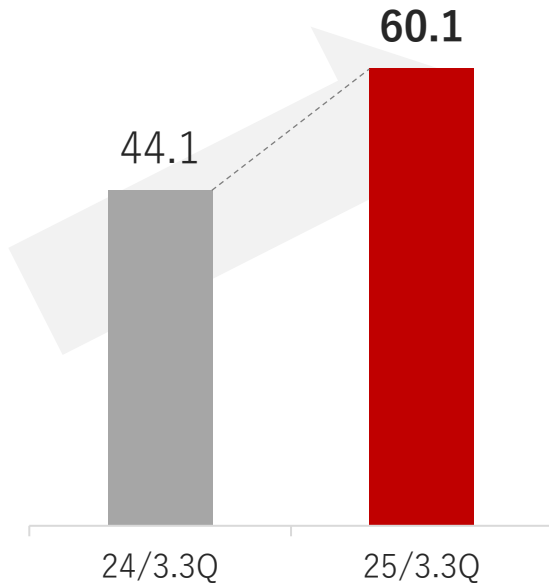
### 営業収益

前年比  
**+19.4%**



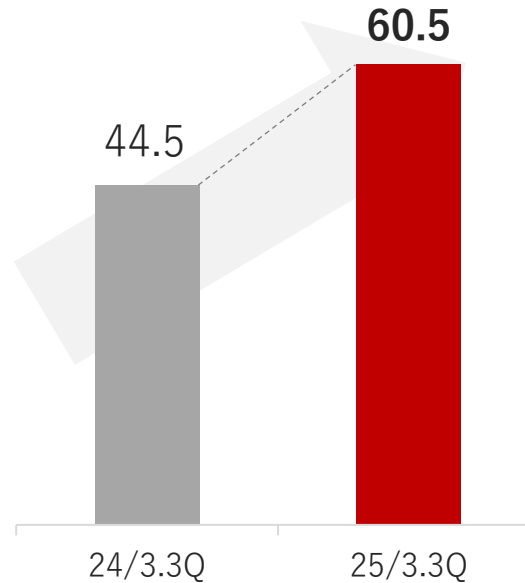
### 営業利益

前年比  
**+36.3%**



### 税引前利益

前年比  
**+35.8%**



## 将来収益（繰延収益）

全体  
**606**億円  
前年比 **+18.4%**

ファイナンス  
**519**億円  
前年比 **+19.0%**

故障保証  
**80**億円  
前年比 **+14.4%**

ソフトプランナー事業・  
カープレミアクラブ会費繰延  
**8**億円  
前年比 **+24.3%**

(※) 当社グループの自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」と整備工場向け会員組織「カープレミアガレージ」の総称です。

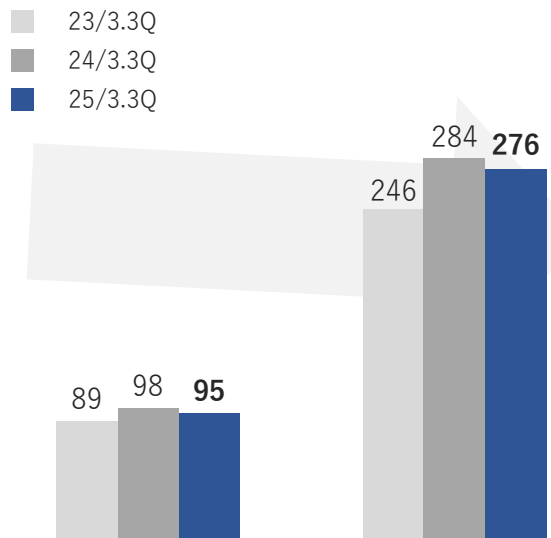
- 新車市場は1Qの型式指定の認証不正の影響が尾を引き前年割れ。中古車市場は横ばいで推移
- クレジット取扱高は、カープレミアディーラーの稼働率の向上及び大手販売店の取扱拡大により、2桁成長を継続
- 故障保証全体の取扱高は大手OEM先が不調も、利益率の高い自社商品は前年比+29.4%と引き続き好調

## マーケット※

(グラフ単位：万台)

### 新車販売台数

単Q 前年比 ▲3.2%  
 累計 前年比 ▲2.9%

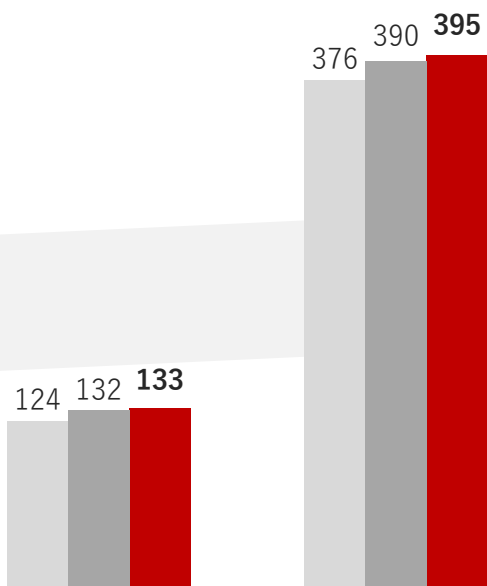


単Q比較

累計比較

### 中古車登録台数

単Q 前年比 +1.2%  
 累計 前年比 +1.1%



単Q比較

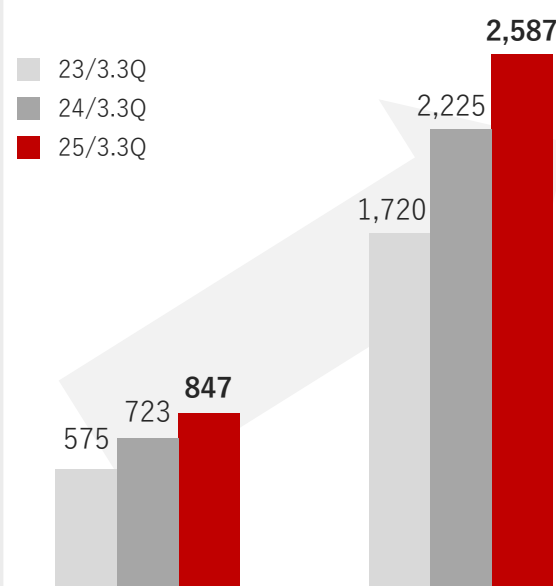
累計比較

## KPI

(グラフ単位：億円)

### クレジット取扱高

単Q 前年比 +17.3%  
 累計 前年比 +16.3%

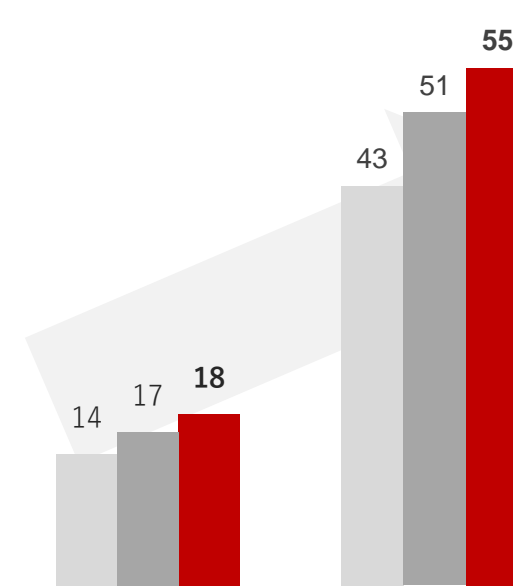


単Q比較

累計比較

### 故障保証取扱高

単Q 前年比 +11.6%  
 累計 前年比 +9.5%



単Q比較

累計比較

(※) 軽自動車を含めた台数を記載しております。出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会 統計データ、一般社団法人全国軽自動車協会連合会 統計データ

01 決算ハイライト

**02 決算概要**

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

08 Appendix

# 連結業績

(単位：百万円)

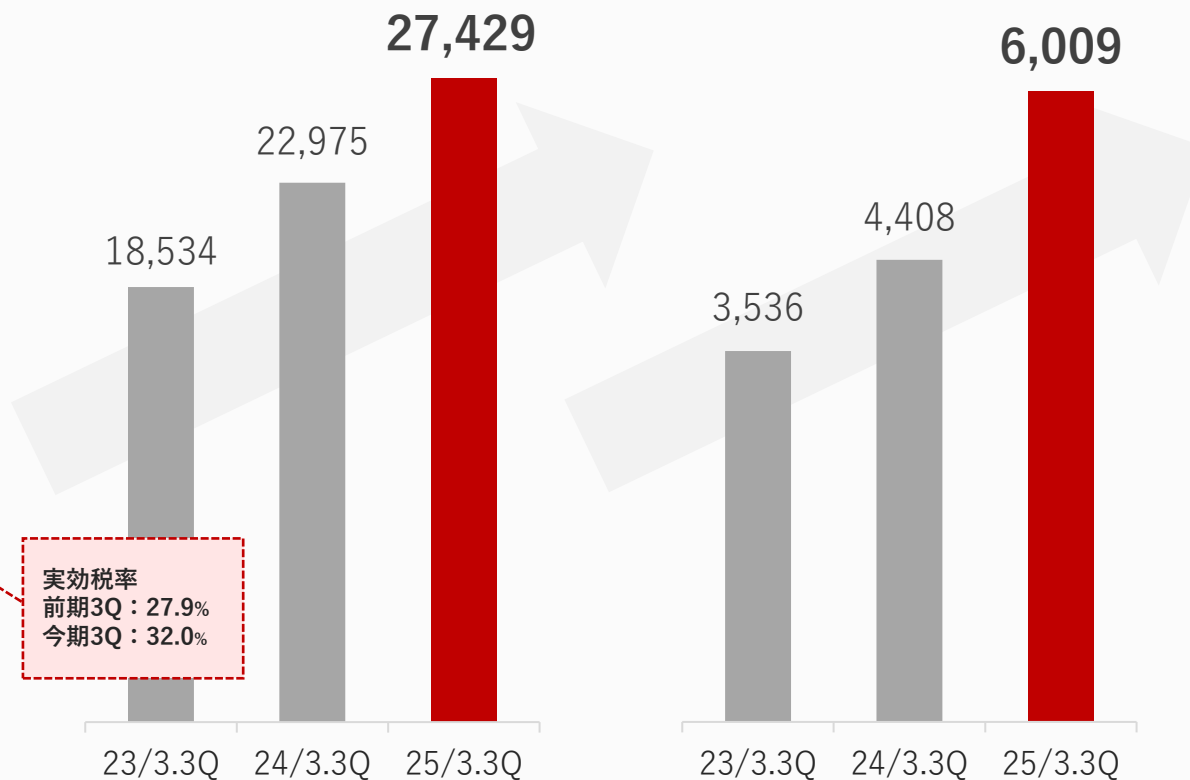


- クレジット債権残高、故障保証残高の**積み上げ**により営業収益は前年比**+19.4%**の**274.3億円**
- 営業利益は前年比**+36.3%**の**60.1億円**、税引前利益は前年比**+35.8%**の**60.5億円**

	24/3.3Q	25/3.3Q	前年比
営業収益	22,975	27,429	+19.4%
営業費用	18,567	21,420	+15.4%
営業利益	4,408	6,009	+36.3%
税引前利益	4,455	6,048	+35.8%
親会社の所有者に 帰属する当期利益	3,203	4,111	+28.3%
基本的1株当たり 当期利益 (円)	82.53	108.39	+31.3%

営業収益

営業利益



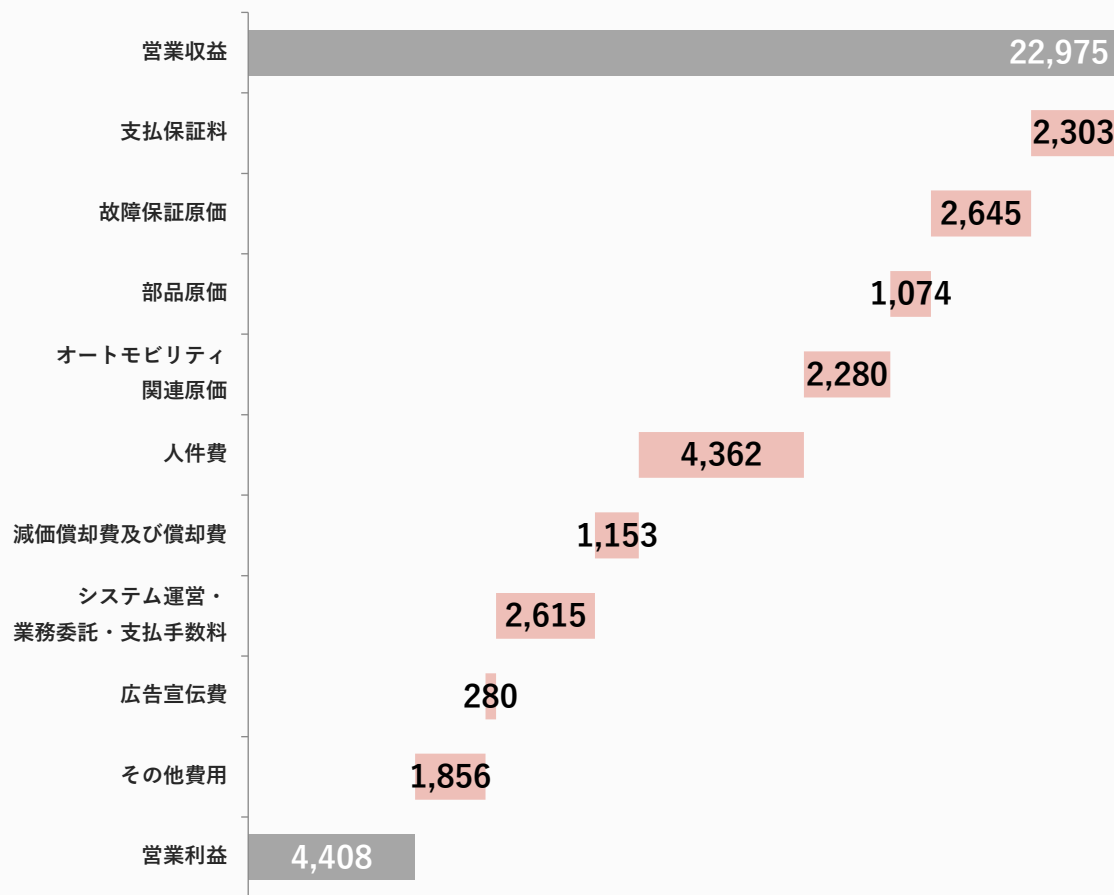
# 営業費用（内訳）の推移

(単位：百万円)

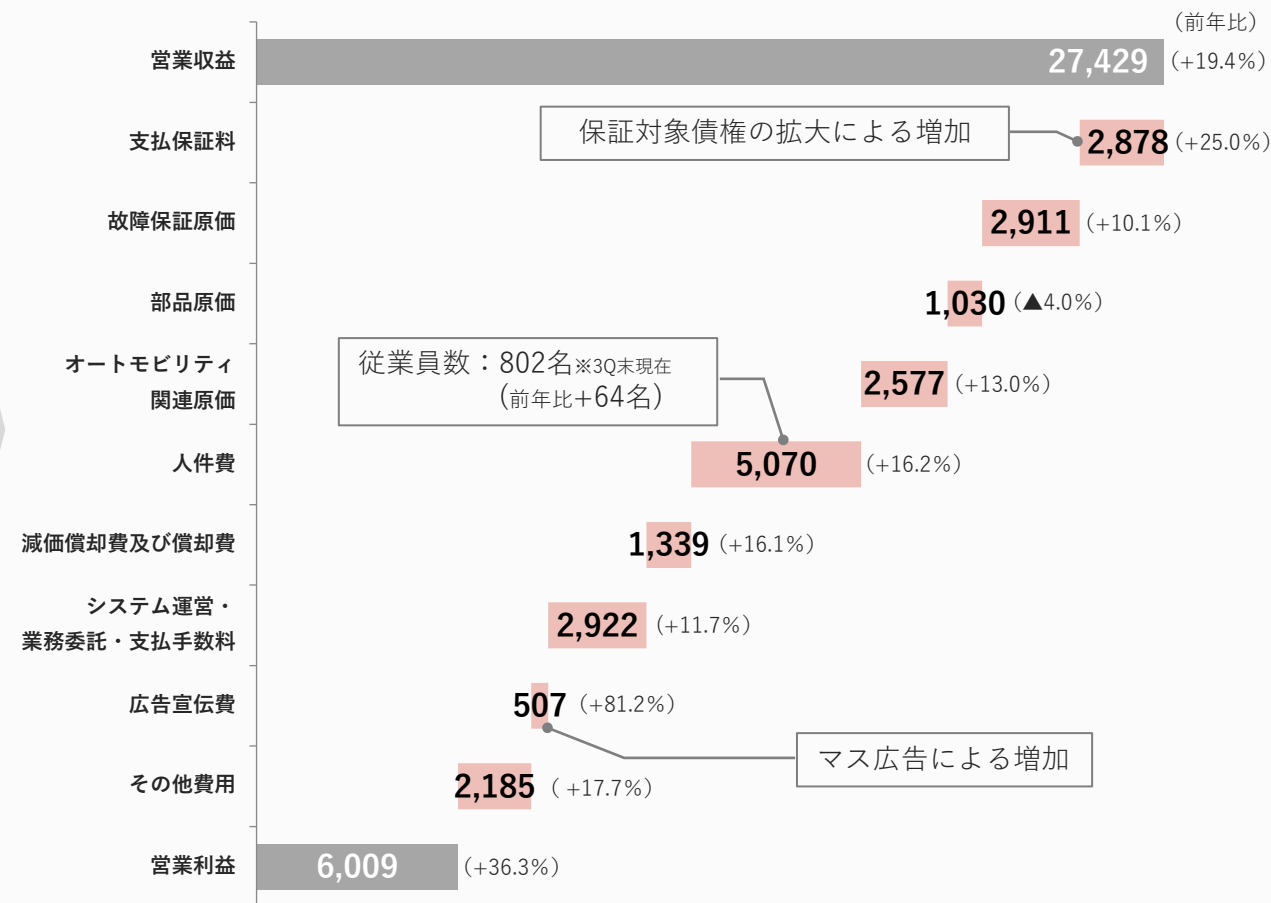


- 事業拡大に伴う費用の増加を抑え、営業費用は前年比+15.4%と営業収益の前年比+19.4%に対し低い水準で推移

24/3.3Q 営業費用  
18,567百万円



25/3.3Q 営業費用  
21,420百万円 (前年比 +15.4%)



(注) 速報値のため、修正・変更が生じた際は当社HP上にて速やかにお知らせいたします。



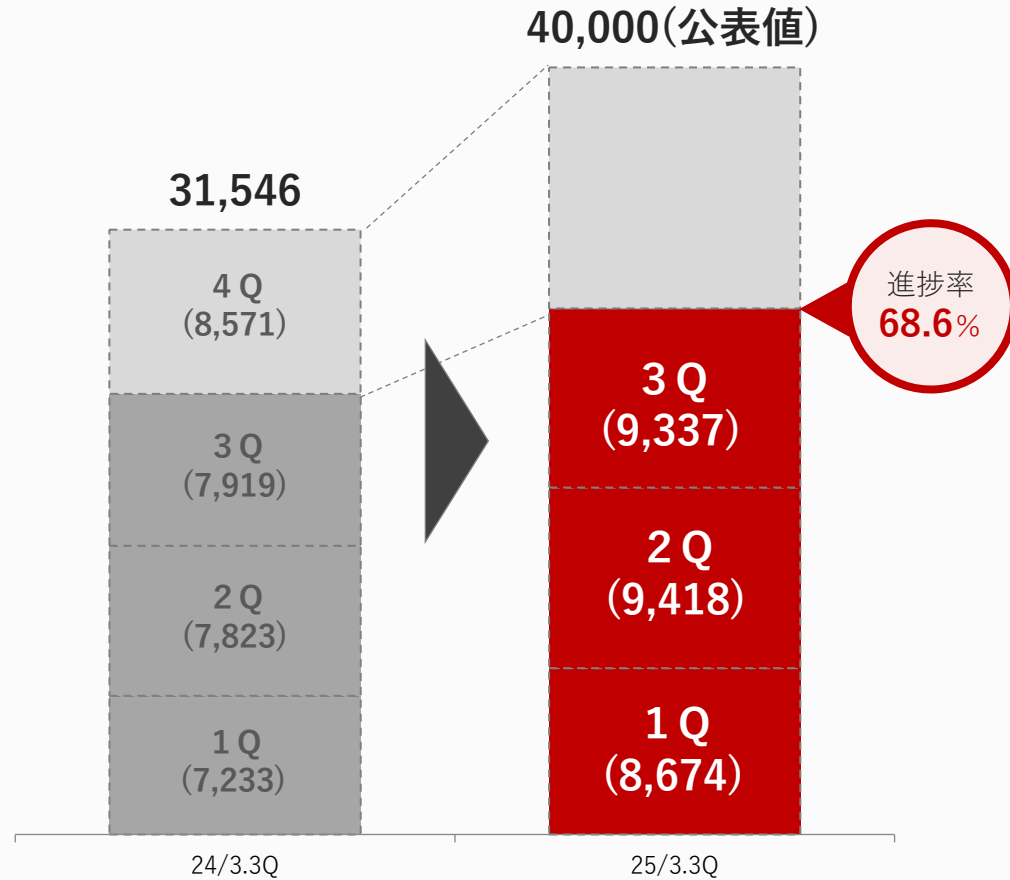
# 通期業績見通し

(単位：百万円)

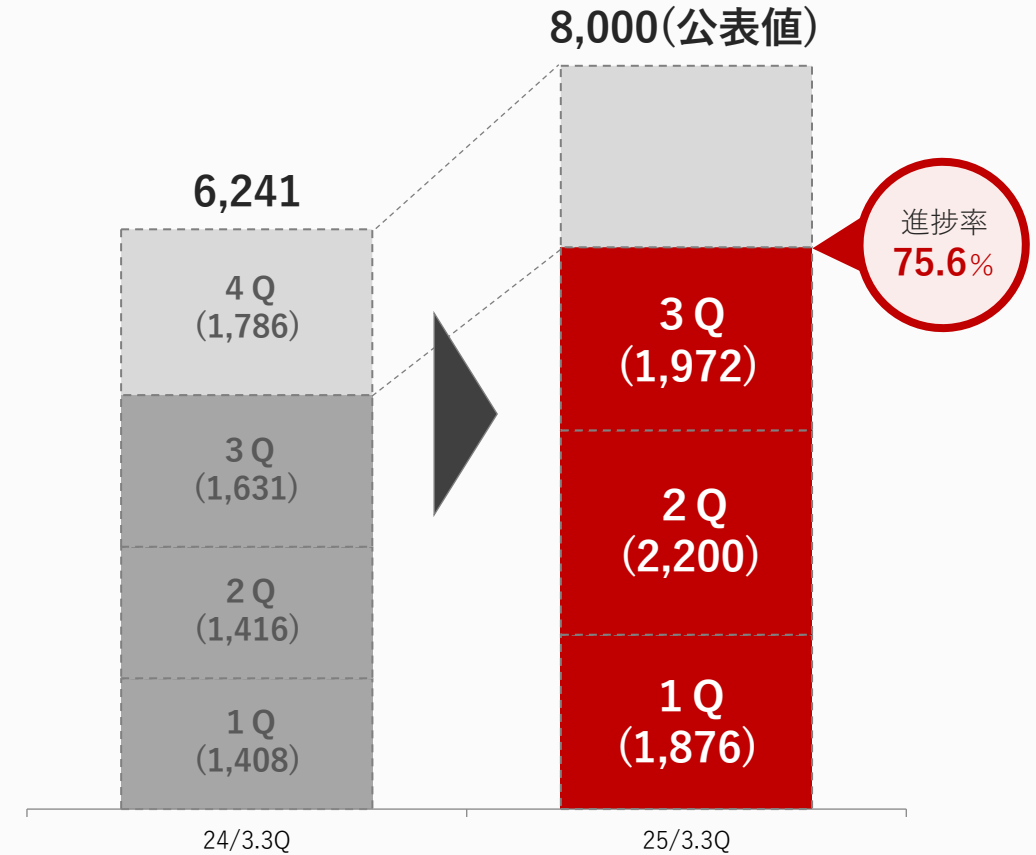


- 営業収益・税引前利益ともに、概ね今期の業績予想通りに推移
- クレジット債権残高、故障保証残高の継続的な**積み上げ**により、四半期毎の業績は**徐々に増加**予定

## 営業収益



## 税引前利益



01 決算ハイライト

02 決算概要

**03 ファイナンス事業**

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

08 Appendix

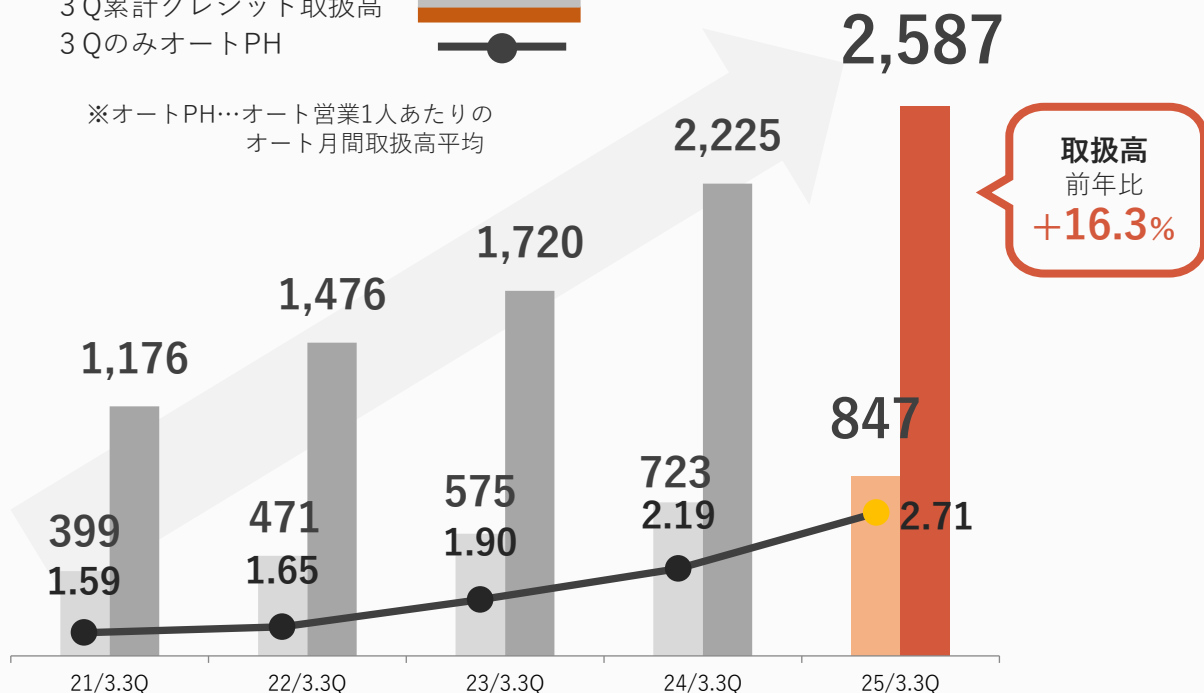
- クレジット取扱高は、**カープレミアディーラーの稼働率の向上及び大手販売店の取扱拡大**により、2桁成長を継続
- 前期のクレジット取扱高の**大幅伸長**と今期の伸長により、債権残高については2桁成長（前年比+22.9%）を維持
- 基幹システムの更改後、システム障害が発生。より早い解消に向け、**復旧作業に鋭意対応中**

## クレジット取扱高

3Qのみクレジット取扱高  
3Q累計クレジット取扱高  
3QのみオートPH

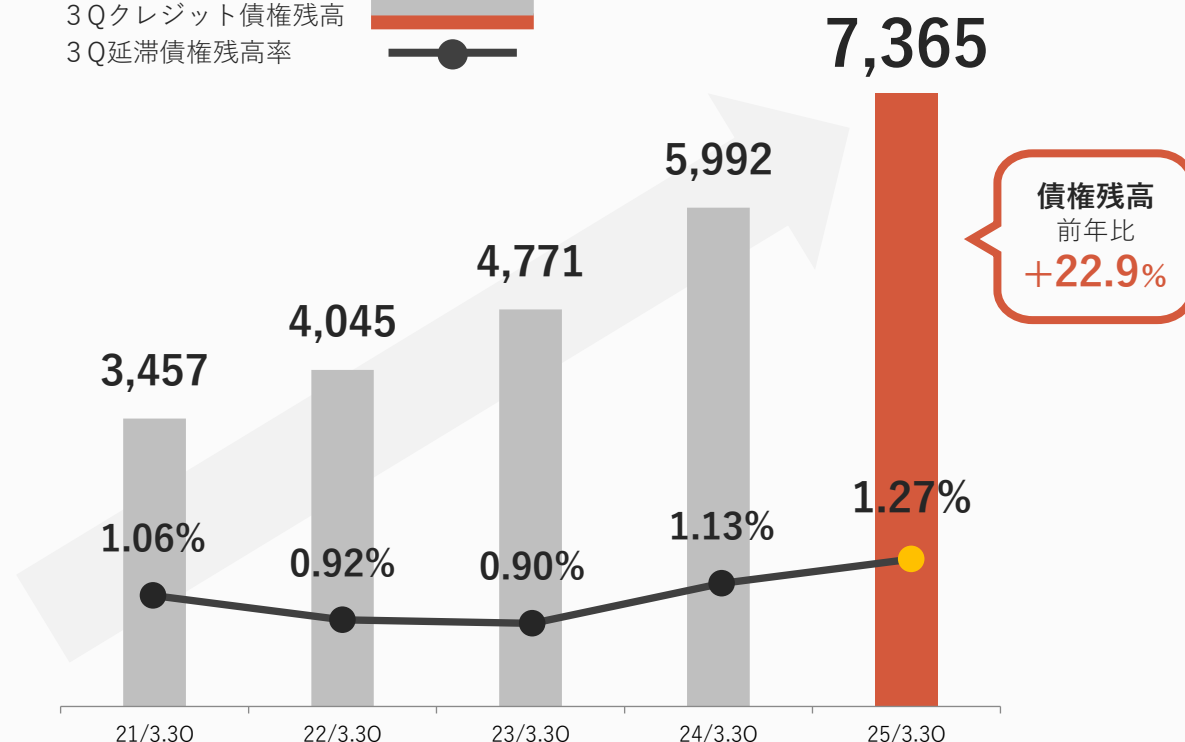


※オートPH…オート営業1人あたりの  
オート月間取扱高平均



## クレジット債権残高

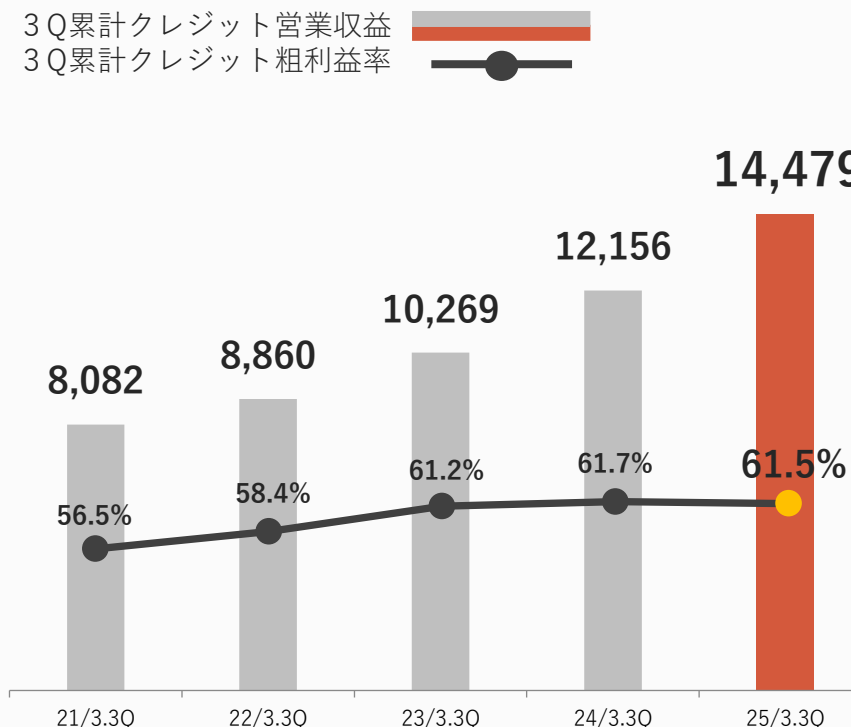
3Qクレジット債権残高  
3Q延滞債権残高率



(注) 1. クレジット取扱高とは、その期間で新たに締結したクレジット契約及びリース保証契約金額の総額です。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の取扱高も含めた値であり、プレミア株の実績です。  
2. クレジット債権残高とは、開業から期末までの累計取扱高のうち、当該時点において返済されていない又は保証期間が経過していないクレジット契約金額及びリース保証契約金額の総額をいいます。オートクレジット以外の商品（エコロジークレジット等）の債権残高も含めた値であり、プレミア株の実績です。  
3. 延滞債権残高率とは、当該期末時点のクレジット及びリース債権残高に対し、延滞月数が3ヵ月を超える債権及び特別債権（司法介入債権）の合計額が占める割合をいいます。

- 金利上昇トレンドであるものの、**顧客金利等への転嫁によりクレジット粗利益率※1は前年と同水準を維持**
- クレジット債権残高も前年比+22.9%と伸長した結果、営業収益・営業利益・税引前利益ともに順調に伸長**

	24/3.3Q	25/3.3Q	前年比
営業収益	12,848	15,464	+20.4%
営業利益	3,285	4,335	+32.0%
税引前利益	3,312	4,285	+29.4%



クレジット  
営業収益※2  
前年比  
+19.1%

クレジット  
粗利益率※1  
前年比  
▲0.2  
ポイント

(※) 1. クレジット粗利益率は、クレジットにかかる営業利益を、クレジットにかかる営業収益で除した実績です。  
 なお、当該粗利益率算出時の営業費用は、クレジット獲得のために直接発生した費用（金利、保証料、人件費、地代家賃等）となります。  
 2. クレジット営業収益は、クレジットにかかる営業収益を集計しております。

01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

**04 故障保証事業**

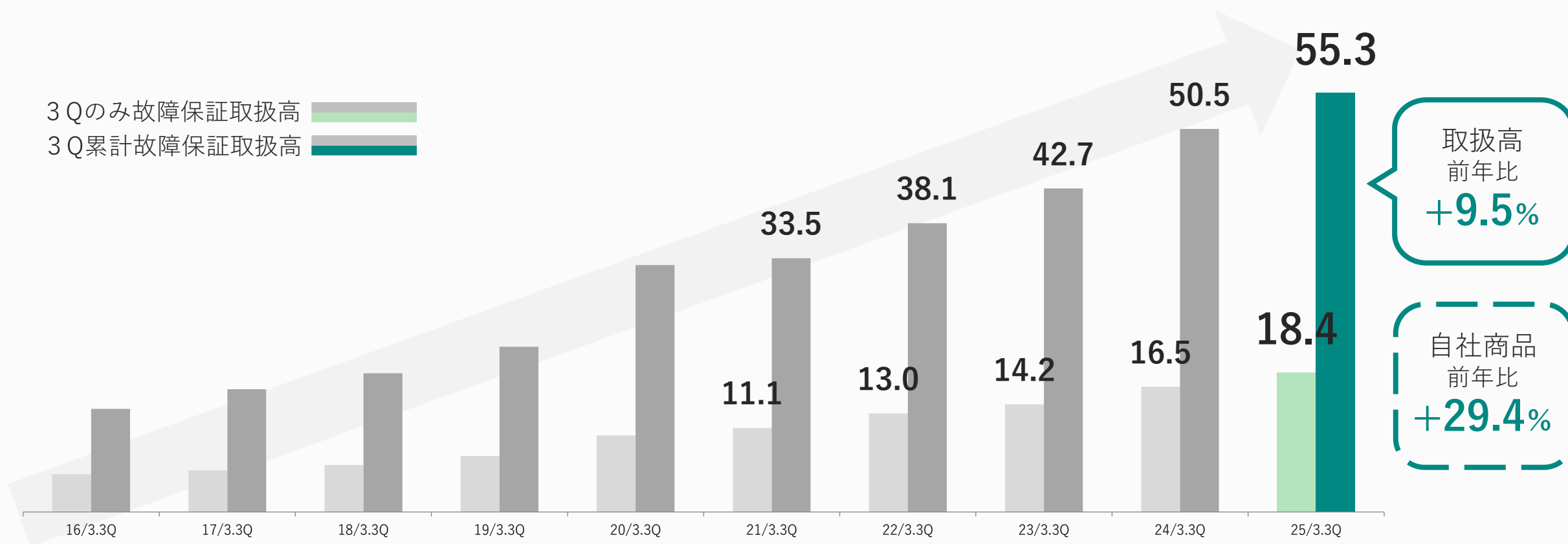
05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

08 Appendix

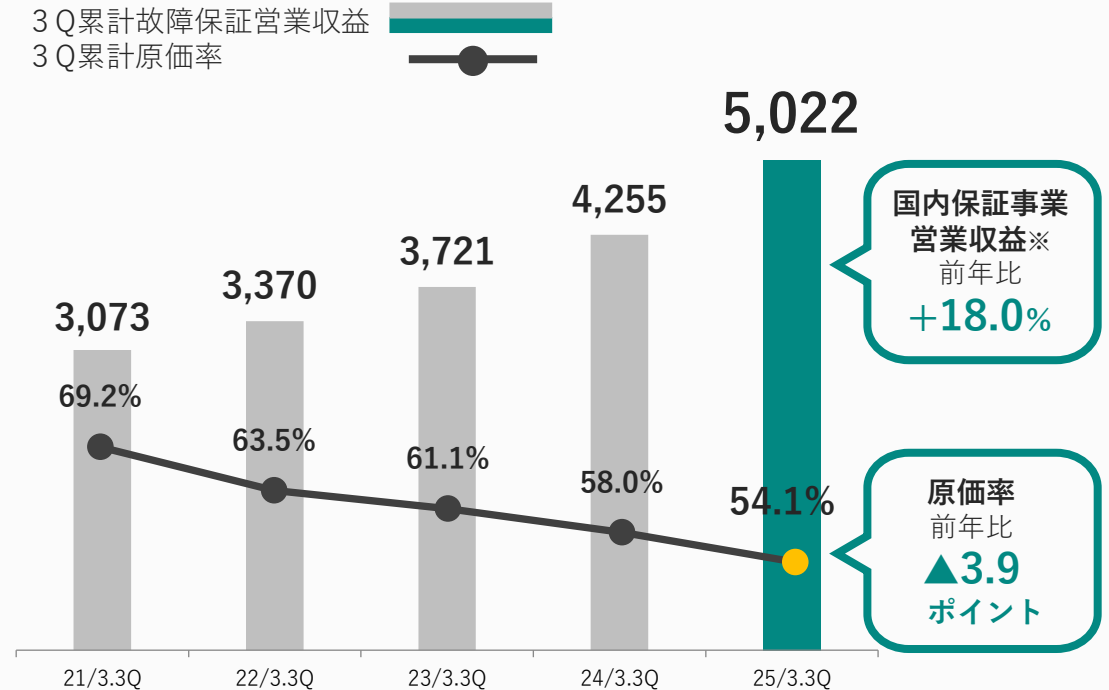
- 故障保証全体の取扱高は、カープレミアディーラーの会員数増加によりクレジットとの併用が増加し、取扱高は回復基調
- 大手OEM先が不調も、利益率の高い**自社商品は前年比+29.4%**と引き続き好調



(注) 1. 故障保証取扱高とは、その期間で新たに締結した保証契約金額の総額です。  
2. 2022年3月期第3四半期に一部商品の取扱高の集計基準の見直しを行い、新基準を適用して記載しております。

- カープレミアクラブのサービス拡充により**会員退会数を抑制**、利益率の高い**自社商品**が伸長
- 自社ネットワーク整備工場への**入庫誘導の強化**、中古部品の利用増加により**原価低減**を実現
- 海外の故障保証事業（タイ、インドネシア、フィリピン）についても、取扱高は**2桁成長を継続**

	24/3.3Q	25/3.3Q	前年比
営業収益	4,395	5,169	+17.6%
営業利益	450	768	+70.6%
税引前利益	501	840	+67.7%



(※) 国内保証事業営業収益は、海外の実績を除いております。

01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

**05 オートモビリティサービス事業**

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

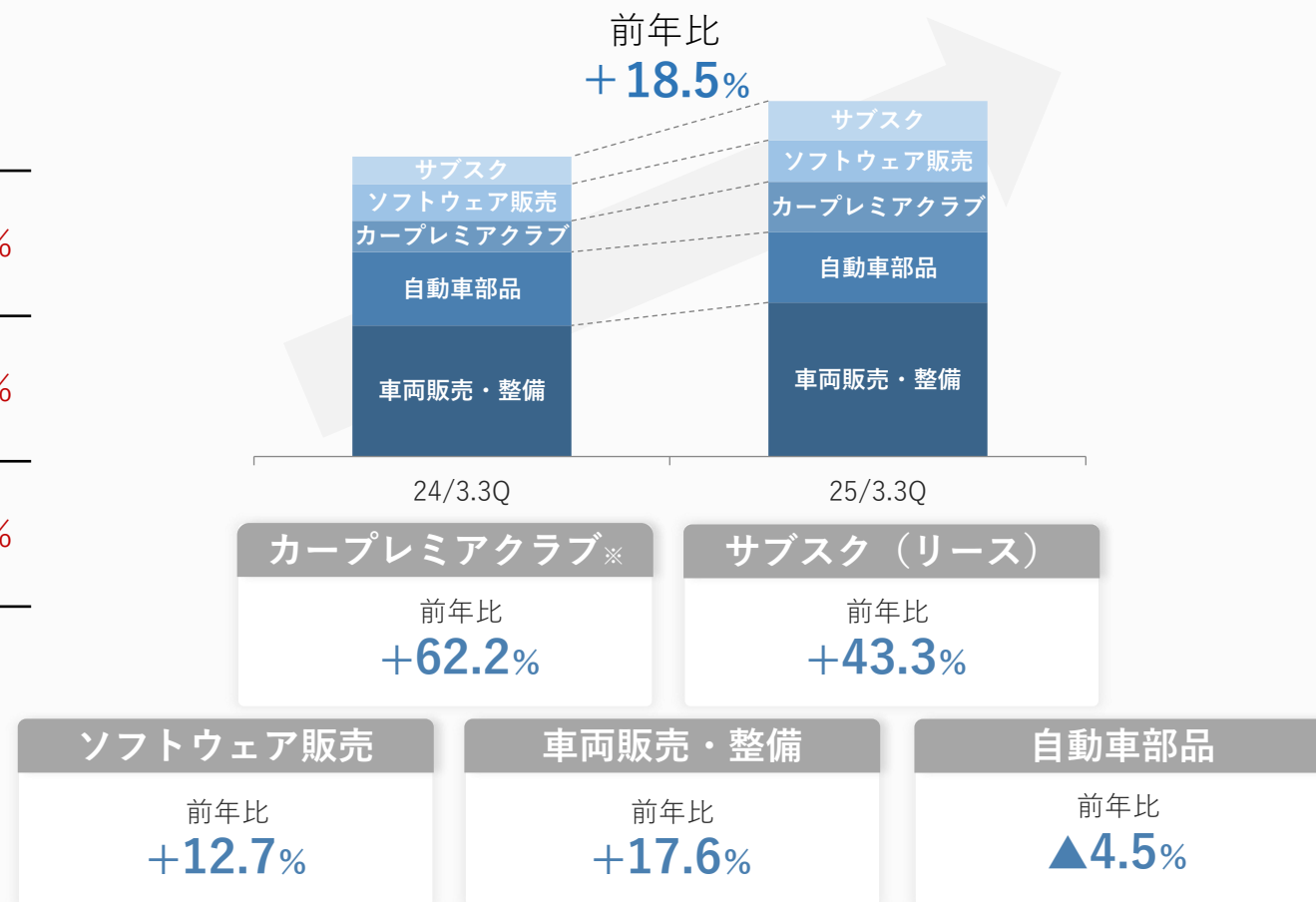
08 Appendix



- 主要事業の業績が順調に伸長し、営業利益は前年比**+31.0%**と好調に推移
- 前期に実施したカープレミアクラブ会費の**価格改定**により、今後も安定的に収益を確保
- **カープレミアクラブ向けサービスの拡充**、カープレミアブランドの認知拡大（マス広告等）を通じて、オートモビリティサービス事業の各事業の拡大を図る

	24/3.3Q	25/3.3Q	前年比
営業収益	5,724	6,786	+18.5%
営業利益	708	928	+31.0%
税引前利益	692	916	+32.3%

オートモビリティサービス事業 営業収益



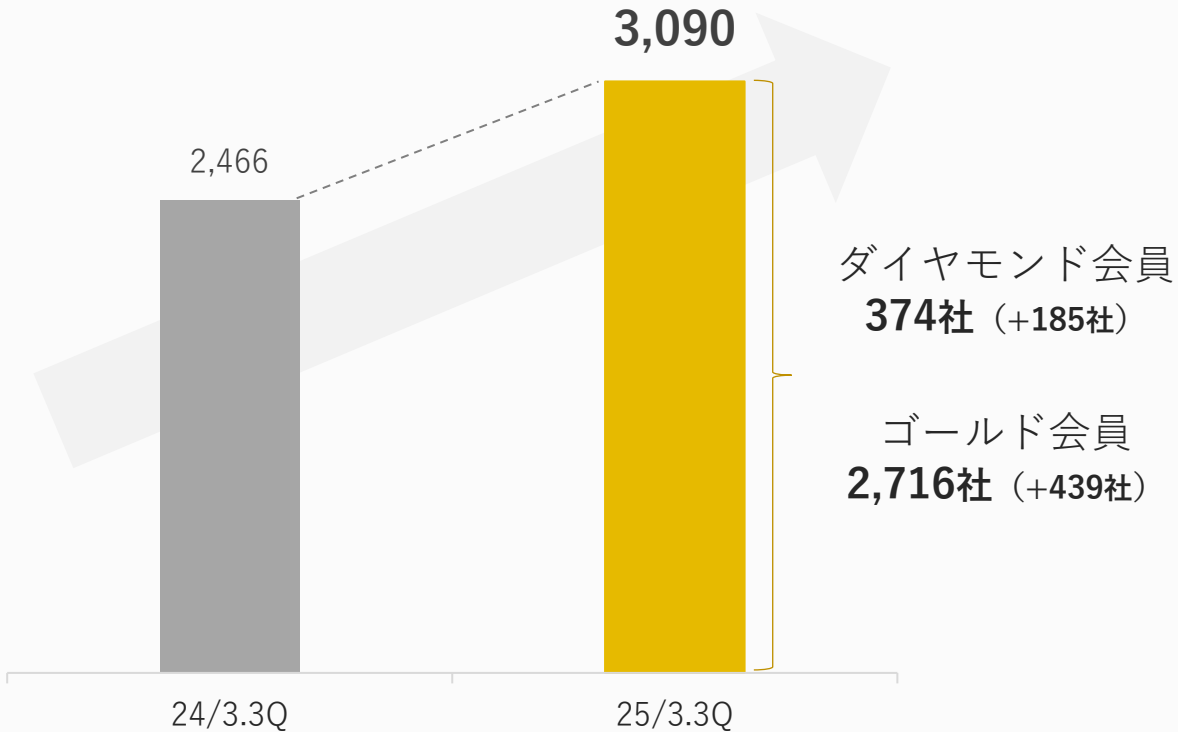
(※) 当社グループの自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」と整備工場向け会員組織「カープレミアガレージ」の会費収益です。

- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 カープレミアクラブ**
- 07 その他進捗
- 08 Appendix

- カープレミアディーラーは**退会抑止及び新規獲得**に注力し、順調に会員数が増加
- 堅調なアップセルによりダイヤモンド会員は**185社増**となり、カープレミアあんしんショップ※も全国300社以上展開
- カープレミアガレージは、故障保証修理時の**優先的な入庫誘導**が奏功し増加基調

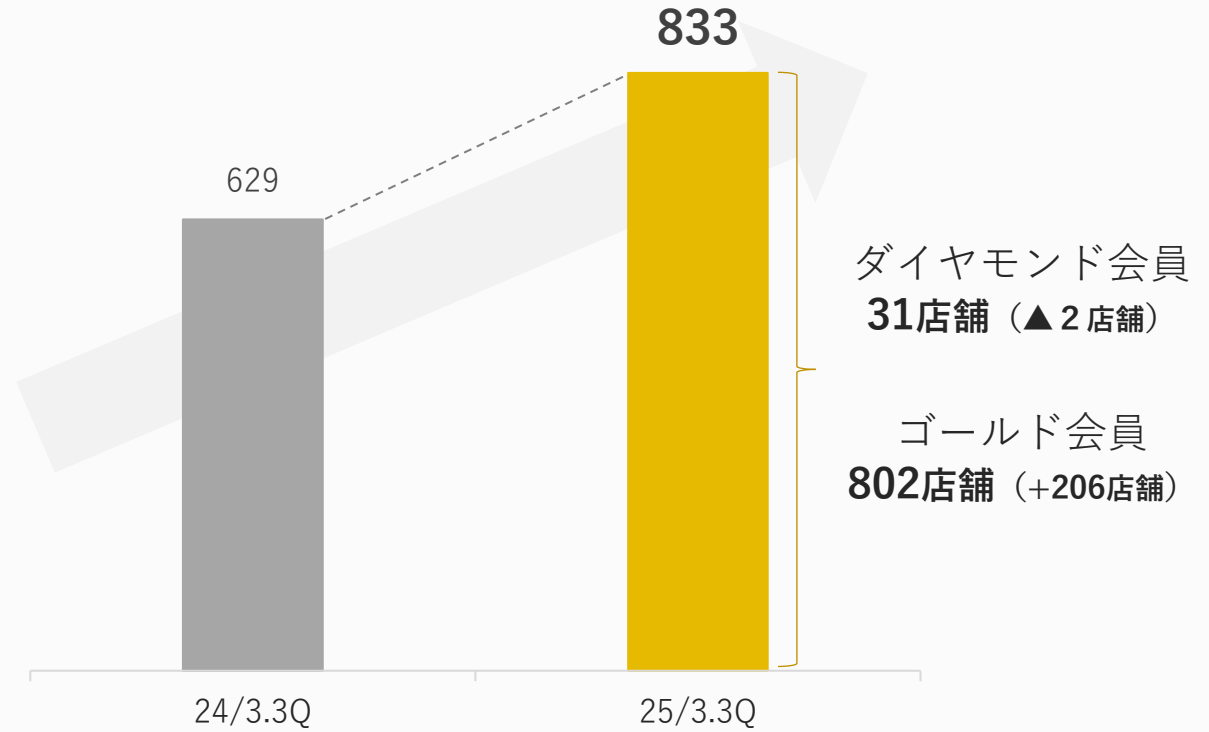
## カープレミアディーラー (自動車販売店)

前年比 **+624社**



## カープレミアガレージ (自動車整備工場)

前年比 **+204店舗**



(注) カープレミアクラブとは、当社グループの自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」と自動車整備工場向け会員組織「カープレミアガレージ」の総称です。

(※) カープレミアあんしんショップ… P.31を参照

- 01 決算ハイライト
- 02 決算概要
- 03 ファイナンス事業
- 04 故障保証事業
- 05 オートモビリティサービス事業
- 06 カープレミアクラブ
- 07 その他進捗**
- 08 Appendix

## 中期経営計画進捗（2年目）

▶ 中期経営計画「ONE&ONLY 2026」の詳細は[こちら](#)

- 中計初年度は営業収益**315億円**、税引前利益**62億円**と計画を上回る
- 今期の税引前利益**80億円（公表値）**に向けた進捗率は**75.6%**
- カープミアクラブ※会員向けのサービス拡充により会員数は今後も増加見込
- マス広告の実施によりカープミアブランドの認知拡大

### カープミアクラブ会員数

カープミアディーラー 進捗率：**61.8%**

**3,090**

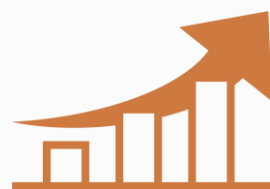
2026年3月期目標  
**5,000社**

カープミアガレージ 進捗率：**55.5%**

**833**

2026年3月期目標  
**1,500店舗**

## トピックス



クレジット債権残高  
7,000億円突破

- 提供サービスの拡充による利便性の強化
- 購入者の安心感を重視した経営戦略が奏功
- カープミアクラブの再構築及び会員増加により、加盟店の稼働率が向上し、堅調な債権残高の積み上げを実現



温室効果ガス（GHG）排出量の  
第三者保証を取得

- 2023年度のGHG排出量データの信頼性向上のため、ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社による第三者保証を取得
- エネルギー消費量やCO<sub>2</sub>排出量の削減を通じて、脱炭素化及び循環型社会形成に取り組む

▶ リリースは[こちら](#)



auじぶん銀行との  
提携ローンを開始

- オートクレジットに係る提携ローン取引の提携契約を締結し、5行体制へ拡大
- 安定的な資金調達が可能。資金調達コストの削減、金利変動のリスクヘッジ、商品力の強化等の効果を期待

▶ リリースは[こちら](#)

01 決算ハイライト

02 決算概要

03 ファイナンス事業

04 故障保証事業

05 オートモビリティサービス事業

06 カープレミアクラブ

07 その他進捗

**08 Appendix**

社名	プレミアグループ株式会社
証券コード / 市場	7199 / 東京証券取引所市場プライム市場
設立	2015年5月25日 ※2007年 プレミア株式会社設立（旧社名：株式会社ジー・ワンクレジットサービス）
本社	東京都港区虎ノ門2-10-4 オークラプレステージタワー
代表取締役社長	柴田 洋一
発行済株式数	40,470,570株 2024年12月末時点
資本金	1,680百万円 単体/2024年12月末時点
従業員数	802名 連結/2024年12月末時点（※臨時雇用者を除くグループ従業員数）
主な株主	<p>チカラ・インベストメンツ・エルエルピー : 4.11%</p> <p>キャピタル・リサーチ・アンド・マネージメント・カンパニー : 5.83%</p> <p>野村證券株式会社 : 0.47%</p> <p>ノムラ インターナショナル ピーエルシー : 0.17%</p> <p>野村アセットマネジメント株式会社 : 3.41%</p> <p>(2024年12月末時点 大量保有報告書等を参照)</p>
グループ内容	<p>国内及び海外※における各事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ファイナンス事業</li> <li>・故障保証事業</li> <li>・オートモビリティサービス事業</li> <li>・カープレミア(自動車販売店、自動車整備工場の会員組織構築)</li> </ul> <p>※海外（タイ王国、インドネシア共和国、フィリピン共和国等）</p>

# 事業内容

- プレミアグループは、自動車販売店や自動車整備工場の皆さまと一緒にお客様に豊かなカーライフを届けるオートモビリティ企業です

## 事業セグメント

### ファイナンス事業

#### 主な事業

- ・オートクレジット
- ・エコロジッククレジット
- ・ショッピングクレジット
- ・サービサー

#### 主な取引先

- ・自動車販売店

### 故障保証事業

#### 主な事業

- ・自動車の故障保証事業
- ・故障保証事業の海外展開  
(タイ、インドネシア、フィリピン)

#### 主な取引先

- ・自動車販売店、自動車整備工場

### オートモビリティサービス事業

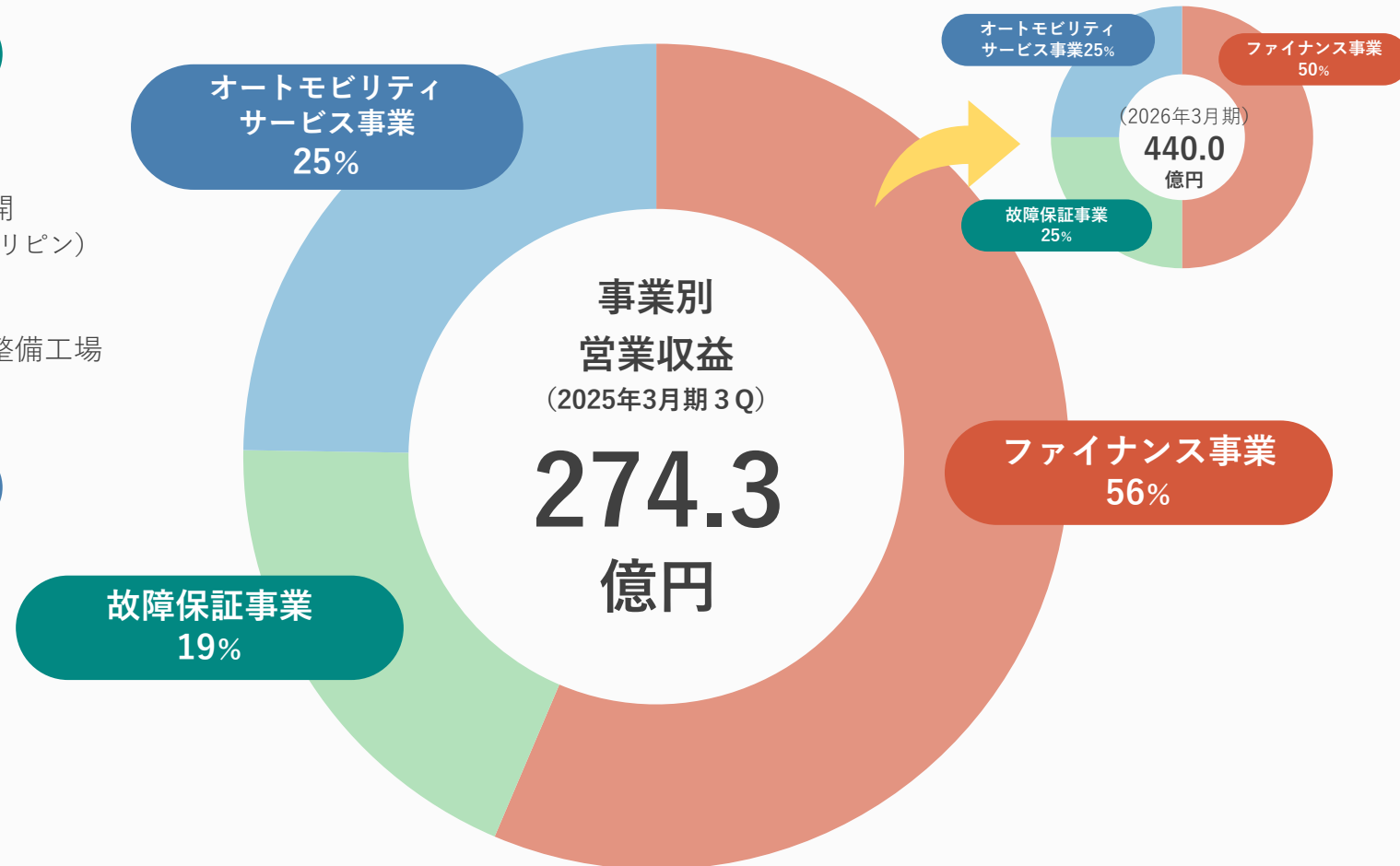
#### 主な事業

- ・会員組織「カープレミアクラブ」の運営
- ・車両卸販売
- ・業務用ソフトウェア販売
- ・オートリース
- ・自動車整備工場の運営
- ・国内外への中古パーツ販売

#### 主な取引先

- ・自動車販売店、自動車整備工場

## セグメント別ポートフォリオ





# 当社のDX戦略

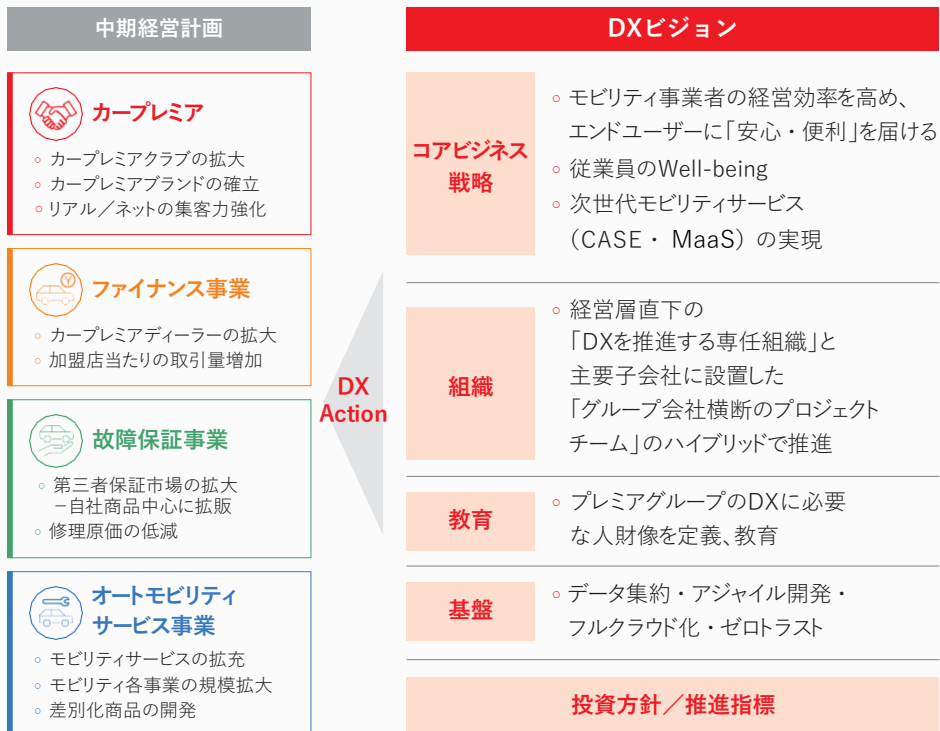


- 2021年5月に策定したDX戦略を2024年9月に刷新
- DX人財の育成や組織づくり、基幹システムの更改、情報セキュリティの強化等、DXを推進するための基盤を強化し、CASE・MaaSをはじめとする次世代モビリティサービスに対応する新規事業の創出を目指す

## DXビジョン

個々が輝くチームから成るプラットフォームとして、エンドユーザー、モビリティ事業者と「プレミア」なカーライフを共創する

## DXの全体像と中期経営計画



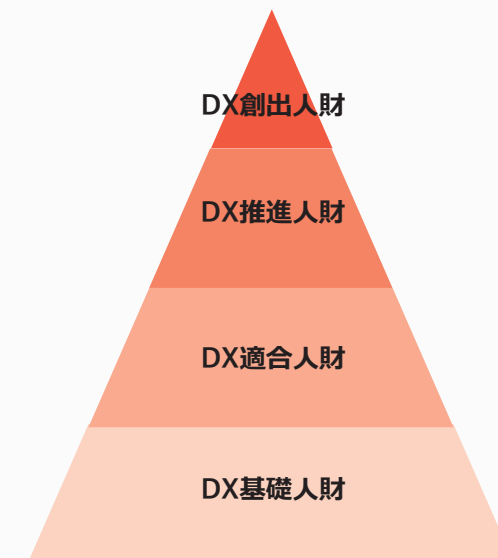
DX Action

## コアビジネス戦略

- モビリティ事業者の経営効率を高め、エンドユーザーに「安心・便利」をお届け**
  - 一定水準以上のモビリティ事業者(以下「B」)と中古車購入希望者及び修理等希望者(以下、総称して「C」)に、カープレミアが提供するモビリティプラットフォーム上で、あらゆるモビリティサービスを享受できる環境を構築
  - BとCに対して、リアル又はオンラインを問わず、プラットフォーム上でマッチングする仕組みを提供し、取引機会の最大化を目指す
- 従業員の幸福度 (Well-being) を高める**
  - 従業員があらゆる制約から解放され、主体性を持った働き方をアシスト
  - AI活用を含むデジタル化による業務の省力化、自動化、高度化
  - BIツールを活用した迅速な意思決定の実現
  - レガシーシステム脱却による運用保守負担軽減、ビジネスニーズをスピーディに反映

## DX人財の育成・教育

プレミアグループが推進するDXに必要な人財を4段階で定義し、持つべきマインドセットの醸成、レベル毎に求めるスキルセットを取得できるような研修、評価制度の拡充や組織構築を通じて教育を推進します。



# 2025年3月期 セグメントについて



- 故障保証事業傘下であったプレミアオートパーツ(株)をオートモビリティサービス事業傘下に移設
- オートモビリティサービス事業傘下であったC I F U T (株)をファイナンス事業に移設
- 引き続きカープレミア事業モデルをもとに、更なるグループ間シナジーの創出を目指す



## ファイナンス事業

**プレミア(株)**  
オートクレジットを中心としたファイナンス事業の運営・統括

- 中央債権回収(株)**  
債権回収, 車輛引揚事業
- Eastern Commercial Leasing p.l.c.** \*  
オートクレジット, 故障保証事(タイ証券取引所上場)
- C I F U T (株)** \*  
自動車関連IoT装置の開発・提供

## 故障保証事業

**プレミアワランティサービス(株)**  
故障保証事業の運営・統括

- Premium Service (Thailand) Co.,Ltd**  
タイにおける自動車整備、故障保証事業
- PT Premium Garansi Indonesia** \*  
インドネシアにおける故障保証事業
- Premium Warranty Services Philippines, Inc.** \*  
フィリピンにおける故障保証事業
- プレミアオートパーツ(株)** (ダッシュボックス内)

## オートモビリティサービス事業

**プレミアモビリティサービス(株)**  
オートモビリティサービス事業の運営・統括

- PLS(株)**  
個人向けオートリース事業
- プレミアソフトプランナー(株)**  
事業者向けソフトウェア開発, 販売事業
- プレミアオートパーツ(株)**  
オートパーツ関連事業
- C I F U T (株)** \* (ダッシュボックス内)
- カープレミア(株)**  
モビリティ事業者向け会員組織の開拓・運営
- P A S (株)**  
自動車整備事業、钣金・塗装事業

(注) 「\*」は関連会社を表しております。

# セグメント別業績

(単位：百万円)



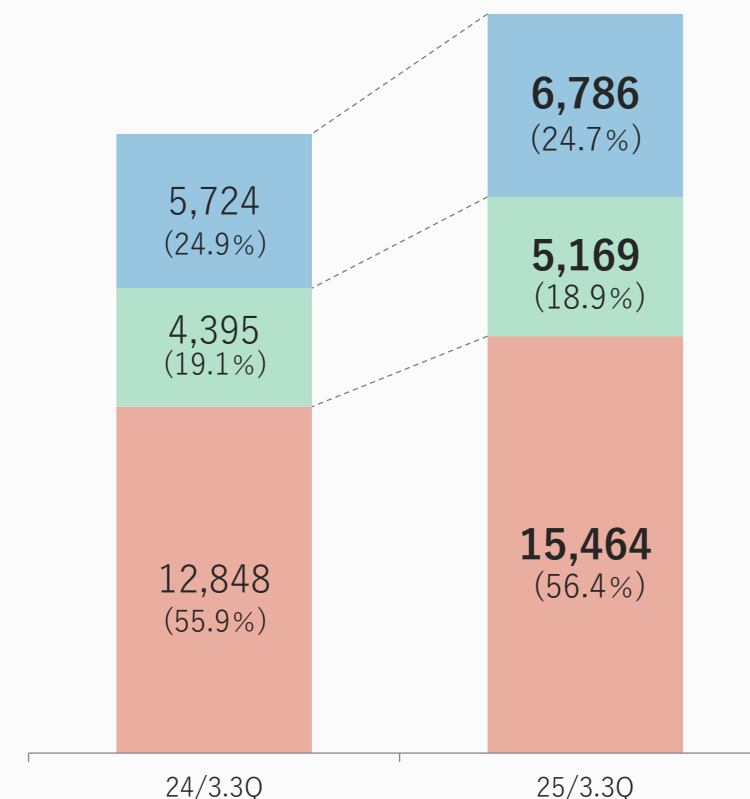
- 各事業が順調に伸長した結果、営業収益・税引前利益はいずれも前年より増加

2025年3月期3Q

	営業収益	営業利益	税引前利益
ファイナンス事業	15,464 前年比 +20.4%	4,335 前年比 +32.0%	4,285 前年比 +29.4%
故障保証事業	5,169 前年比 +17.6%	768 前年比 +70.6%	840 前年比 +67.7%
オートモビリティサービス事業	6,786 前年比 +18.5%	928 前年比 +31.0%	916 前年比 +32.3%

営業収益

■ ファイナンス ■ 故障保証 ■ オートモビリティサービス



(注) 当期よりセグメント区分を変更したため、前期のセグメント別損益は、実務上可能な範囲でのみ反映しております。

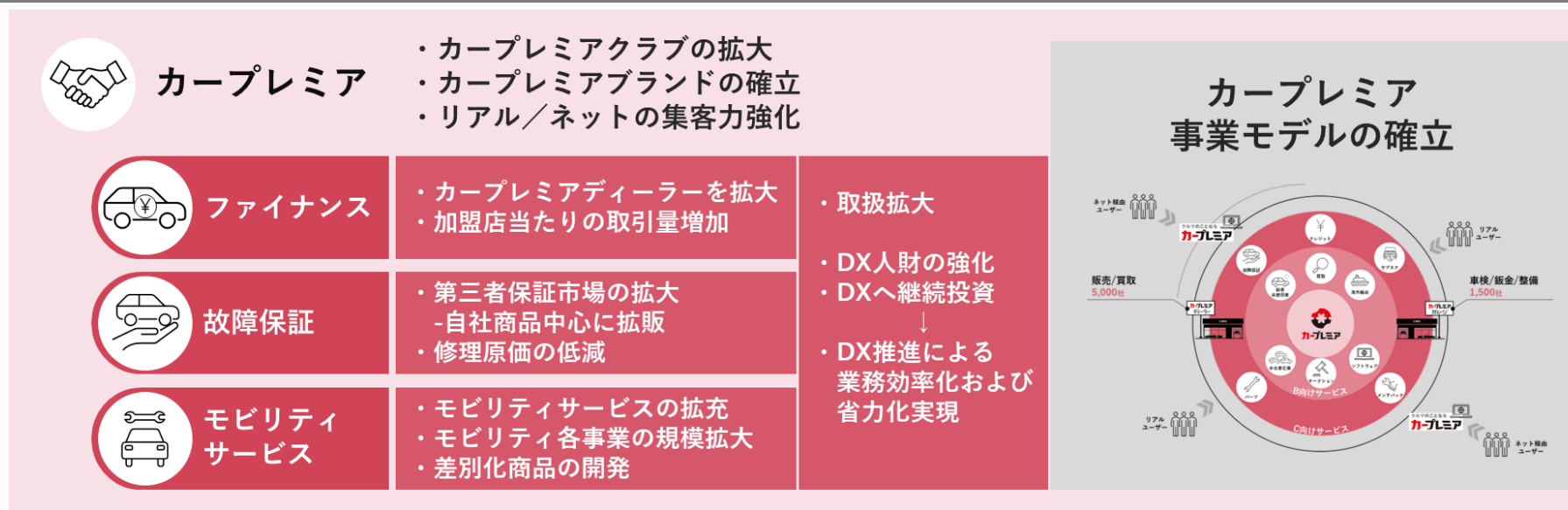
## 中期ビジョン

ONE & ONLYのオートモビリティ企業を目指して、  
**カープレミア事業モデルの確立**

数値目標 (2026年3月期)

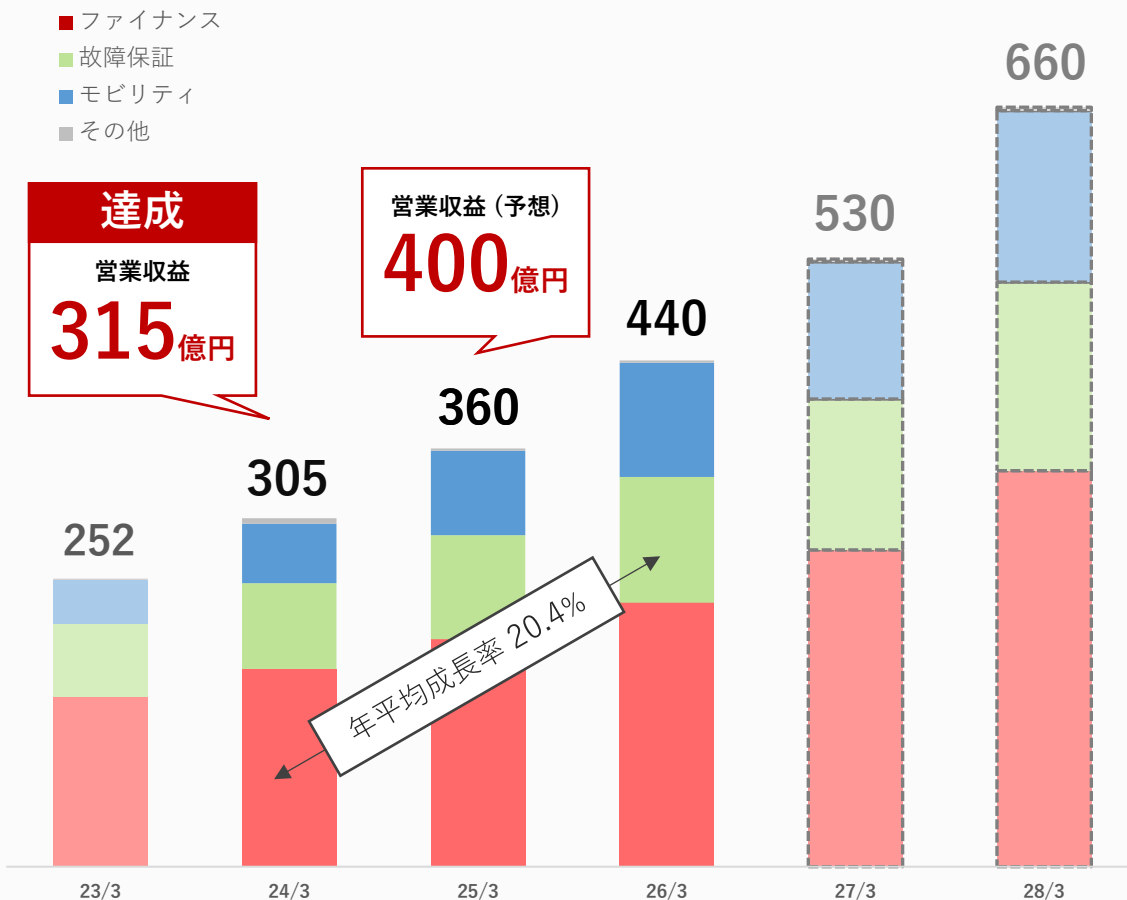
営業収益	税引前利益	当期利益	ROE	時価総額
<b>440億円</b> 23/3比 +74.6%	<b>102億円</b> 23/3比 +91.0%	<b>70億円</b> 23/3比 +75.0%	<b>30%台</b> 23/3実績 34.7%	<b>1,400~1,750億円</b> 23/3比 204~255%

## 重要課題



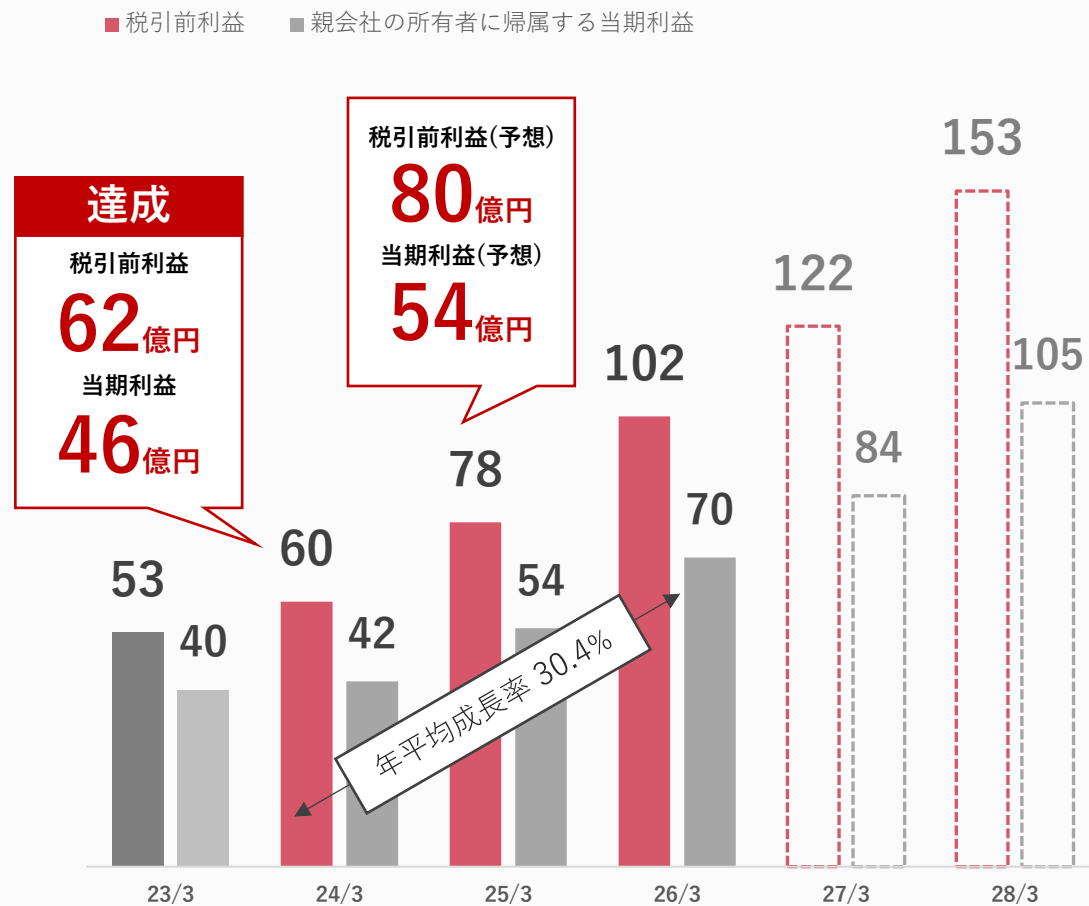
## 営業収益

(億円)



## 税引前利益 / 当期利益

(億円)



# (23/3 3Q)外部環境の変化に対する当社の対応

- 為替変動については、外貨建取引が極めて僅少
  - 金利上昇、インフレについては機動的に対応
- ➡ 業績への影響は殆どなし

## ① 為替変動



外貨建取引は**僅少**  
→ 影響は**殆どなし**

## ② インフレ・物価高

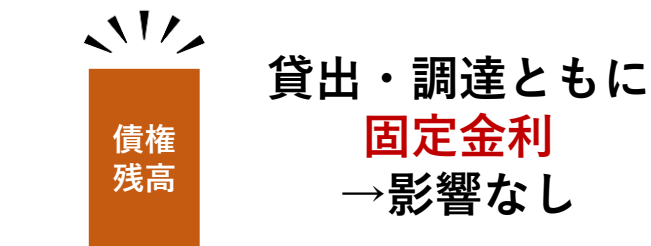


機動的に**手数料・商品価格を改定**  
→ 影響は**殆どなし**

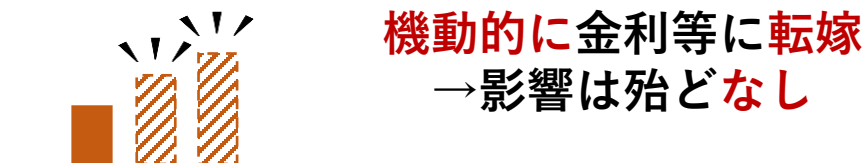
## ③ 金利上昇

### オートローン調達金利

> **契約済**の債権



> **新規**に契約する債権



### 財務戦略



- 固定金利での調達割合を増加
- 資金調達手段の**多様化**を推進  
(債権流動化・社債・CP等)

➡ 更に**低利・安定的な**資金調達を実現

# (24/3 3Q)カーププレミアあんしんショップ制度をリリース



- お客様が安心して商品やサービスを受けられる制度「カーププレミアあんしんショップ」を2024年1月29日より開始

## カーププレミアあんしんショップとは

全てのお客様がお取引内容を理解・納得いただけるよう「あんしん宣言」を掲げサービス提供するお店

- ✓ 当社の基準をクリア
- ✓ あんしん宣言／規約同意
- ✓ カーププレミア点検の実施

**カーププレミア**  
**あんしんショップ**

- ✓ あんしんサービスの提供
- ✓ カーププレミアサイトで上位表示

**カーププレミアクラブ**

ダイヤモンド会員

**カーププレミアクラブ**

ゴールド会員

## あんしん宣言・サービス内容



**車両購入のあんしん宣言**



**車両整備のあんしん宣言**



購入・作業内容を十分理解し、納得できるよう正確で詳細な説明を実施します



透明性のある作業実施の為に内容及び費用を記載した書面を提供します



安心して乗れるようカーププレミアで点検を実施し、納車します

車両購入後14日以内の不具合修理をカーププレミアが最大**30**万円までお支払い

車両整備後14日以内の不具合修理をカーププレミアが最大**30**万円までお支払い

カープレミアディーラー  
オートクレジット割合※1

前年比  
+6.4ポイント

44.5%

有料会員の増加による  
堅調な増加推移を維持

営業人員数

前年比  
▲1名※2

98名

営業人員PH※3の増加に注力し、  
(仕組化や営業活動の効率化)  
大幅な増員は予定せず

AI審査判定率

前年比  
▲2.0ポイント (注)

38.1% (注)

審査の精度をさらに向上させ  
審査時間の削減や判定の標準化を促進

(注) 基幹システムの更改に伴い、AI審査判定率を集計中のため、  
2Q実績を記載しております。

(※) 1. 当社取扱のオートクレジット取扱高のうち、自動車販売店向け会員組織「カープレミアディーラー」が占める割合です。  
2. 今期第二四半期からの算出方法の変更に伴い、前年度の営業人員数を遡及しております。  
3. PH (パーヘッド) とはオート営業1人あたりのオート月間取扱高平均です。



	24/3 (2024年3月31日)	25/3.2Q (2024年9月30日)	25/3.3Q (2024年12月31日)	前期末比	前Q比
資産の部					
現金及び現金同等物	21,150	18,276	18,147	△14.2%	△0.7%
金融債権	56,419	62,127	66,467	+17.8%	+7.0%
その他の金融資産	7,524	8,194	8,670	+15.2%	+5.8%
有形固定資産	2,837	5,018	4,744	+67.3%	△5.4%
無形資産	8,914	9,105	9,182	+3.0%	+0.8%
のれん	3,958	3,958	3,958	+0.0%	+0.0%
持分法投資	3,173	3,303	3,447	+8.6%	+4.4%
繰延税金資産	14	27	48	+255.3%	+81.1%
保険資産	6,893	8,278	9,490	+37.7%	+14.6%
その他の資産	14,393	15,913	13,671	△5.0%	△14.1%
資産合計	125,274	134,198	137,826	+10.0%	+2.7%
負債の部					
金融保証契約	45,726	50,195	51,871	+13.4%	+3.3%
故障保証前受収益	7,184	7,749	7,990	+11.2%	+3.1%
借入金	42,333	41,685	44,161	+4.3%	+5.9%
その他の金融負債	8,063	9,899	8,543	+6.0%	△13.7%
引当金	383	433	436	+13.7%	+0.7%
未払法人所得税	1,164	1,219	839	△27.9%	△31.1%
繰延税金負債	1,236	1,376	1,604	+29.8%	+16.6%
その他の負債	3,835	3,894	3,880	+1.2%	△0.4%
負債合計	109,923	116,449	119,324	+8.6%	+2.5%
資本の部					
親会社の所有者に帰属する持分					
資本金	1,700	1,700	1,700	+0.0%	+0.0%
資本剰余金	1,534	1,559	1,559	+1.6%	+0.0%
利益剰余金	14,626	16,828	17,409	+19.0%	+3.5%
自己株式	△ 3,109	△ 3,087	△ 3,057	△1.7%	△1.0%
その他の資本の構成要素	559	702	843	+50.8%	+20.2%
親会社の所有者に帰属する持分合計	15,310	17,702	18,455	+20.5%	+4.3%
非支配持分	40	47	47	+16.2%	+0.6%
資本合計	15,351	17,748	18,502	+20.5%	+4.2%
負債及び資本合計	125,274	134,198	137,826	+10.0%	+2.7%

# PL (連結累計期間)

(単位：百万円)



連結累計期間	24/3.1Q~3Q (2023年4月1日~ 2023年12月31日)	25/3.1Q~3Q (2024年4月1日~ 2024年12月31日)	前年同期比
営業収益	22,975	27,429	+19.4%
営業費用	18,567	21,420	+15.4%
営業利益	4,408	6,009	+36.3%
持分法による投資利益	112	6	△94.9%
その他の金融収益	7	58	+694.7%
その他金融費用	73	25	△65.7%
税引前当期（四半期）利益	4,455	6,048	+35.8%
法人所得税費用	1,243	1,935	+55.7%
当期（四半期）利益	3,212	4,112	+28.0%
当期利益の所属			
親会社の所有者に帰属する利益	3,203	4,111	+28.3%
非支配持分に帰属する利益	9	1	△88.4%

# PL (連結累計期間／営業収益・営業費用)

(単位：百万円)



連結累計期間	24/3.1Q～3Q (2023年4月1日～ 2023年12月31日)	25/3.1Q～3Q (2024年4月1日～ 2024年12月31日)	前年同期比
営業収益			
金融収益	11,029	12,973	+17.6%
故障保証関連収益	4,355	5,093	+16.9%
オートモビリティ関連売上	3,738	4,634	+24.0%
その他手数料売上	1,859	2,304	+24.0%
部品売上	1,402	1,338	△4.6%
金融資産の減損利得	142	523	+267.0%
保険履行収益	136	164	+20.6%
その他	314	400	+27.3%
合計	22,975	27,429	+19.4%

連結累計期間	24/3.1Q～3Q (2023年4月1日～ 2023年12月31日)	25/3.1Q～3Q (2024年4月1日～ 2024年12月31日)	前年同期比
営業費用			
金融費用	228	352	+54.8%
故障保証関連原価	2,645	2,911	+10.1%
オートモビリティ関連原価	2,280	2,577	+13.0%
支払保証料	2,303	2,878	+25.0%
部品原価	1,074	1,030	△4.0%
従業員給付費用	4,181	4,925	+17.8%
減価償却費及び償却費	1,153	1,339	+16.1%
支払手数料	995	1,079	+8.5%
租税公課	708	779	+10.1%
システム運営費	734	780	+6.2%
業務委託料	584	653	+11.8%
その他営業費用	1,683	2,116	+25.7%
合計	18,567	21,420	+15.4%

# PL (連結会計期間)

(単位：百万円)



連結会計期間	24/3.3Q (2023年10月1日～ 2023年12月31日)	25/3.2Q (2024年7月1日～ 2024年9月30日)	25/3.3Q (2024年10月1日～ 2024年12月31日)	前年同期比	前Q比
営業収益	7,919	9,418	9,337	+17.9%	△0.9%
営業費用	6,274	7,190	7,378	+17.6%	+2.6%
営業利益	1,645	2,228	1,959	+19.1%	△12.1%
持分法による投資利益	12	24	△36	△409.4%	△247.1%
その他の金融収益	2	△12	25	+1128.8%	△306.8%
その他金融費用	28	40	△23	△185.2%	△158.2%
税引前当期（四半期）利益	1,631	2,200	1,972	+20.9%	△10.4%
法人所得税費用	489	704	631	+28.9%	△10.4%
当期（四半期）利益	1,142	1,496	1,341	+17.4%	△10.4%
当期利益の所属	-	-	-	-	-
親会社の所有者に帰属する利益	1,140	1,497	1,340	+17.6%	△10.5%
非支配持分に帰属する利益	2	△2	0	△85.6%	△119.0%

# PL (連結会計期間／営業収益・営業費用)

(単位：百万円)



連結会計期間	24/3.3Q (2023年10月1日～ 2023年12月31日)	25/3.2Q (2024年7月1日～ 2024年9月30日)	25/3.3Q (2024年10月1日～ 2024年12月31日)	前年同期比	前Q比
営業収益					
金融収益	3,851	4,342	4,486	+16.5%	+3.3%
故障保証関連収益	1,513	1,700	1,747	+15.5%	+2.8%
オートモビリティ関連売上	1,215	1,473	1,668	+37.3%	+13.2%
その他手数料売上	637	760	819	+28.6%	+7.9%
部品売上	525	510	381	△27.3%	△25.2%
金融資産の減損利得	62	312	63	+2.6%	△79.7%
保険履行収益	-	164	-	-	-
その他	117	157	173	+47.2%	+9.8%
合計	7,919	9,418	9,337	+17.9%	△0.9%

連結会計期間	24/3.3Q (2023年10月1日～ 2023年12月31日)	25/3.2Q (2024年7月1日～ 2024年9月30日)	25/3.3Q (2024年10月1日～ 2024年12月31日)	前年同期比	前Q比
営業費用					
金融費用	87	117	124	+42.9%	+5.3%
故障保証関連原価	890	1,044	981	+10.3%	△6.1%
オートモビリティ関連原価	659	766	994	+50.9%	+29.7%
支払保証料	804	960	1,011	+25.6%	+5.3%
部品原価	423	406	285	△32.8%	△30.0%
従業員給付費用	1,432	1,625	1,706	+19.2%	+5.0%
減価償却費及び償却費	405	416	470	+16.2%	+13.0%
支払手数料	338	360	376	+11.4%	+4.4%
租税公課	237	252	269	+13.7%	+6.7%
システム運営費	241	257	279	+15.7%	+8.3%
業務委託料	206	228	224	+8.7%	△1.6%
その他営業費用	554	757	660	+19.3%	△12.8%
合計	6,274	7,190	7,378	+17.6%	+2.6%



本資料に掲載されているIR情報は、プレミアグループ株式会社及び関係会社（以下当社）の財務情報、経営情報等の提供を目的としておりますが、内容についていかなる表明・保証を行うものではありません。本資料に掲載されている当社の計画や戦略、業績の見通し等は、将来の予測等に関する情報を含む場合があります。これらの情報は現在入手可能な情報に基づくものであり、経済動向、業界での競争、市場需要、為替レート、税制や諸制度等に関わるリスクや不確実な要素を含んでいます。従って、将来、実際に公表される業績等はこれらの種々の要素によって変動する可能性があり、当社は本資料の情報を使用したことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありません。なお、当社は、新たな情報や将来の事象により、本資料に掲載された将来の見通しを修正して公表する義務を負うものでもありません。本資料に情報を掲載する際には、当社は細心の注意を払っておりますが、掲載した情報に誤りがあった場合や、第三者によるデータの改ざん、データダウンロード等によって生じた障害等に関し、当社は事由の如何を問わず一切責任を負うものではないことをあらかじめご了承ください。本資料に含まれる著作物は、著作権法により保護されており、それらを無断で複製、改編、翻訳、頒布、実演または展示することは禁止されております。本資料への情報の掲載は、投資勧誘を目的にしたものではありません。実際に投資を行う際は、本資料の情報に全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えいただき、投資に関するご決定はご自身のご判断で行うようお願いいたします。